

校訓

正しく 明るく 健やかに

令和4年12月13日発行

Professional (プロフェッショナル)

プロのタクシードライバーと出会いました。少し前のことになりましたが・・・

「間に合わない！」

自宅近くの駅で、早朝から立ちすくむ自分がいた。目の前を自分が乗るはずだった電車が動き始める。このとき、自分の視界に1台のタクシーが目に入った。そのあと、頭の中でシミュレーションするのに何秒もかからなかった。一か八か。

「〇〇駅まで、お願いできますか。できれば・時・分発に乗車したいのですが」

「・・・わかりました。頑張りますが安全運転でいきますので間に合わなかったらごめんなさいね。」
ドアが閉まると同時に、運転手さんはアクセルを踏み込んだ。私は時計と車の前方の景色を交互に見ながら、じっとしているしかなかった。「安全運転」、確かにそうである。制限速度に配慮しながら、安全に運転している。混まない道を選んでくれていることはまちがいない。こんな道、どこへ続いているのか、私の知らない道をぐんぐんと進んでいく。

やがて、目的の駅に到着。私の乗車したい時間まであと数分。

「間に合った！」

タクシーのドアが開き、運転手さんに料金を払いながらお礼を言う。

「どうもありがとうございました！」

急いで降りてもう一度お礼を言おうとすると、

「お客さん、早く！油断してはいけません。ここからホームまではお客さんの足が勝負です！」

・・・確かに。私は一礼したあと、鞆を抱えてダッシュした。息を整えながら乗車した車両の中で運転手さんの顔を思い浮かべた。あの運転手さんの顔は、今も忘れていない。

サッカーのトッププロの集団、ワールドカップ日本代表の活躍は私たちに勇気と感動を与えてくれました。彼らのパフォーマンスに熱い想いを共有した人は数知れません。前回大会最優秀選手のモドリッチ選手（クロアチア）は今回も豊富な運動量と技術の高さでチームを支えました。そのモドリッチ選手が日本戦を終えたあと「日本がドイツとスペインを破ったのは偶然ではないことがよく分かった」とコメントし、日本をたたえたそうです。さらに、ゲームとは別に感動したのは、日本代表のロッカールームでした。きれいに整頓されたロッカールームに残された鶴の折り紙と感謝のメッセージに心動かされ、とても誇らしい気持ちになりました。中心の鶴が上を向いているのは、日本代表の未来と重なる気がしました。



プロフェッショナルの立ち居振る舞いを知ることは、新たな学びに繋がります。

2022年もあとわずかになりました。12月に入り、品中坂の素敵な紅葉も冬支度に入ります。生徒たちは、職業調べやマナー講座、面接講座、職場体験学習を終え、プロの方から学びを深めました。

<職場体験後の生徒の言葉>

「いつもとは違う特別なやりがいを感じることができました」「私たちの当たり前前の日常をいつもつくってくださり、ありがとうございます」「窓口の方はいつも笑顔で対応されておられました。自分も将来、明るく優しく接することができるようになりたいと思いました」

